

岐阜県関YEGと意見交換

～多様性と先進事例を生み出す産学官金連携体制の仕組みの秘訣～



【田中日本YEG会長（左）と宮部昌門関YEG会長（右）】



【意見交換会の様子】

日本商工会議所青年部（以下日本YEG／田中暢之会長・各務原商工会議所青年部所属）は、各地の商工会議所青年部（以下YEG）が抱える悩みや、各地のさまざまな取組や事例等に関する意見交換会として、全国各地のYEGを訪問しています。

2019年12月10日（火）、岐阜県関YEG（宮部昌門会長）を訪問しました。

関YEG宮部会長は、「関YEGでは、高校生とコラボレーションしたメタルアートや、鶺鴒のPRを兼ねて、企業の製品をワークショップ形式で体験できる関リバーサイドフェスティバルを開催した。関YEGの事業は会員企業の発展につながり、楽しく開催できる工夫をしている。また、会員拡大方法のノウハウを活かし、毎年20人以上の入会がある。入会者には日本YEGへの出向や事業参加のほか、ブロックの活動に参加するといった、関YEG以外との交流と研鑽の目を向けるようにしていきたい。多様性こそが、先進事例を生み出す要因だと考えるので、会員の様々なアイデアを形にするために、関市ビジネスサポートセンター「Seki-Biz」をはじめ、関市や金融機関に相談し、アイデアを柔軟に取り入れるようにしている。会長職は、会員や理事会の運営をまとめるなど非常に大変だがいい勉強になっている。」と話してくれました。

日本YEG田中会長は、「今後、人口減少にともなう会員の減少は、全国的に大きな課題となっていく。そのなかでも関YEGの会員増強の事例はとてすばらしく、日本YEGとして各地のYEGに共有していきたい。また、今回の意見交換は日本YEG事業でも使用する電子会議システム ZOOM を使い、WEB 会議としても同時開催した。今後の会議のあり方が変わってくると感じた。会員や事務局の負担の双方の負担を減らしていくことも今後の課題だ。」と話しました。



【お問い合わせ先】

日本商工会議所青年部 広報委員長 宮崎映行

TEL：080-1740-8097 Mail：hideyuki119@gmail.com

(日本商工会議所青年部ホームページ) <https://yeg.jp>



【商工会議所青年部（YEG）とは】

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う青年経済人の相互研鑽の場として、また、資質の向上と会員相互の交流を通じて、自企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

「YEG」とは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group = 若き企業家集団）の頭文字をとったもので、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者 = Youth, Energy, Generalist を表しています。

2019年5月現在、日本YEGに加入の青年部は418カ所を数え、その会員数は34,000名を超えます。YEGでは、地域の経済的発展の支えとなるべく、全国各地でのコンベンションの開催、地域からの要望や意見を集約し提言を行う活動、経営課題を解決するための事業、講演会・セミナーなどの研修事業、国際的な交流活動などを行っています。